

上伊那音楽教育研究会

# ハーモニー

第1号

令和6年7月 日

文責 武田 良美

## 仰望の日 & 総会



今頃の発行になってしまい申し訳ありません。

2024年度が始まって、あっという間に3ヶ月が経ってしまいました。私個人としては本当に記憶がないくらい早い1学期でした。みなさんはどんな1学期でしたでしょうか。

5月の仰望の日の合唱団 とても素晴らしい歌声でした。会場で聴いていたみなさんからも「素敵な歌声だったね。」「男性も女性も力強い歌声で、かっこ良かった。」等々の感想をお聞きしました。全体で一緒に歌うことが出来た「信濃の国」も会場が一体となり心地よい時間だったと感じました。やっぱり、「歌っていいな。」と思う瞬間でした。練習等本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

上伊那教育会情報「仰望」にも感想が載せられておりましたので、そちらもご覧になっていただければと思います。

そして、午後は山田祐介先生を講師にお迎えし、合唱の指導の仕方を伝授していただきました。山田先生の柔和な雰囲気を生で感じることができ、とても良い時間を過ごせたように思います。  
あんな風に子どもたちにも指導をされていたのかな…。



教えてくださった「おぼろ月夜」は、山田先生の大好きな曲だとおっしゃっていましたね。

「言葉のかたまりを意識すること」や、「フレーズの頂点は2種類あること」、「1番と2番は言葉が違うのだから、強弱が違っていても良い。」等々を歌いながら実際に教えていただき、元々美しい歌声が、さらに美しく、そして、山田先生流の歌声にかわっていくことが実感できました。

続いて教えていただいた「地球星歌～笑顔のために～」からは、8分の6拍子の拍子の取り方から教えていただきました。ソプラノ、アルト、テノールのどこが主旋律か。気持ちよく歌っていくと分からなくなったり、出過ぎてしまったりすることもあるけれど、そういったことに気をつけることや、子音を鳴らしてから歌うこと等々、普段気をつけようとしていることを、徹底的に気をつけて歌うことを学んだように思います。最後「そのひのために」は、「必ずくる決意」そして、最後のハミングは「祈りの音」。山田先生が選ぶ言葉一つ一つが、丁寧さや想像力をもたらせる言葉のように感じました。

最後のフェルマータの部分の指揮の仕方も、「さらり」と素敵に指揮をされていて、あんな風にできたらなあと思えるほどでした。

今回たくさん声をかけてくださっていた「口は縦に！」これを意識するだけで、だいぶ音の感じが変わることも歌っていてわかりました。学校へ戻り、自分のクラスにもこのことはすぐに伝えられるなあと思い、実際にやってみました。続けていくことをめあてにしています。前途にも書きましたが、山田先生の柔和な雰囲気の中、あっという間に時間が過ぎていきました。とても素敵な音楽に参加された皆さんでつくれたことをとても嬉しく思いました。

今までもそうでしたが、上伊那音楽研究会の研修がとても充実していて、本当に学びが多いです。私は今年度から担任となり、立場が変わっていますが、変わったからこそ「音楽の素晴らしさ」を痛感しています。

貴重な時間を過ごせてありがたかったです。ありがとうございました。